



「戦争は心の中で生まれるものだから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」

暑中お見舞い申し上げます

2005年度芦屋ユネスコ協会総会開催

2005年度

芦屋ユネスコ協会 総会



会長挨拶



20世紀は戦争の世紀と云われ、21世紀は平和な世紀でありたいと、国連総会の決議として「平和の文化に関する宣言」が採択されております。

『平和とは、ただ単に紛争が無いと云うことだけでなく、民主主義の原則によって対話が奨励され「戦争と暴力の文化」から「平和と非暴力の文化」へ早急に地球規模でその運動が展開される様に願い、ここに「平和の文化に関する宣言」を厳粛に公布する。』とあります。

コミュニケーションが上手く出来ない為に国と国とが武力を持って戦い、小さくは家庭の中でも親が子供を、子供が親を殺し、また親しい友達を殺すニュースが毎日聞かれるこの頃、今こそユネスコ精神の「心の中に平和の砦」を築かなければならないと申せましょう。

わが芦屋ユネスコ協会では一昨年から、平和の貴さをアピールするために、8月15日正午に会員が集まり、「優愛の鐘」を鳴らす行事と共に、戦争体験を語り合う集いを行っています。今年も8月15日正午にこの市民センター玄関前にお集まり下さい。

昨年度は恒例の世界遺産バスツアーに始まり、年末の親睦会では外務省の大阪大使から国際情勢のお話を伺い、ビンゴゲームのカード販売で得た収益は、世界遺産バーミアン遺跡の復興に寄与することが出来、感謝状も戴きました。また、芦屋川ロータリークラブからは書き損じ葉書を沢山集めて頂き、字の読めない人達への大きな支援として寄与させて頂くことが出来ました。皆様のご協力に感謝致します。

すでに本年度が始まっていますが、芦屋ユネスコ協会ならではの活動を行う予定をしておりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

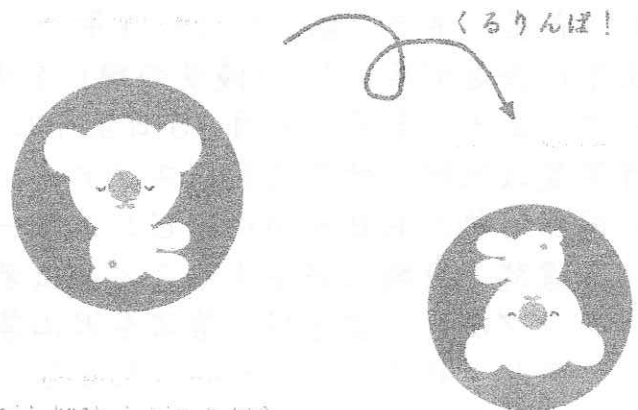
総会報告

2005年6月24日(金) 18:00～ 芦屋市民センター301号室において、2005年度総会が行われ、来賓として、山中健芦屋市長、藤原周三教育長、山路正明芦屋川ロータリークラブ会長、高嶋修社会教育部部長、石濱正昭社会教育部次長、田中孝太郎生涯学習課主査(ユネスコ担当)の6名の方々がお越し下さいました。廣瀬忠子会長の開会挨拶後、山中市長よりご挨拶戴き、来賓紹介の後に、本部から送られてきた芦屋ロータリークラブへの感謝状を廣瀬会長から山路会長に、また書き損じ葉書回収の功労として会員の河上せつ子様、塩井君子様にも感謝状が贈呈されました。



その後、異議無く会長が議長に選出され、議事が行われました。第1号議案「2004年度事業報告」、第2号議案「2004年度決算報告」は山田利郎事務局長より説明が行われ、河上せつ子・増谷一夫監査委員から「監査報告」があり、それぞれ異議無く承認されました。続いて第3号議案「2005年度事業計画(案)」及び第4号議案「2005年度予算(案)」を事務局長が説明し、異議無く承認され、(案)が消されました。滞りなく議事は終了し、江藤容子事務局次長より、本日の配布物の説明が行われました。

「くるりんぱ」・・・可愛い絵葉書が配られていましたが、これは日本ユネスコ協会連盟が「ユネスコ世界寺子屋運動」くるりんぱプロジェクトとして数社の支援のもとに制作され、その販売収益が「ユネスコ世界寺子屋運動」に寄与されているもので、その絵はそれぞれ、葉書を逆さにした時に違った絵に見えるものですが、これは立場や宗教などが違っていても角度を変えようと平和を願っている思いは同じだということを表しているのだとのことです。



くるりんぱ? とは? E-NE?

くるりんぱ? とは? E-NE?



記念講演会

『スペイン人の見たニホン』

総会終了後、記念講演会『スペイン人の見たニホン』が西田副会長ご紹介の芦屋市在住のスペイン人、フランシスコ・マルティン・ディエス氏により行われました。

フランシスコ・ザビエルの国スペインに生まれ育った彼は、小さい頃からニホンを見に行きたいという夢を持ち続け、27歳の時にその夢を叶え、ニホンにやってきました。

日本とスペインの間の絆は思ったより深く、日本語になったスペイン語も多く見られます。教育や文化などスペインと共通する日本のよさを余すことなく語って下さいました。日本人の自然を愛する心がいかに素晴らしいかという事や、日本人は世界の本当の遺産が人間(人間国宝)である事をよく理解している事など、お陰で我々日本人が改めて日本を再認識させられた感じがいたしました。家庭が教育の土台であるというお話なども、日本で23年もの間スペイン語・英語の教師として従事してこられたディエス氏ならではの興味深いお話に、時間の経つのがとても速く感じられました。

会員懇親会

講演会終了後、懇親会の為に会場を移し、森副会長の音頭による乾杯の後、会食が始まりました。美味しいお食事に舌鼓を打ち、楽しい会話に花を咲かせた後は、池西理事による、恒例のクイズ大会が行われました。○×に別れ、明暗を分け合いながら、楽しいひと時を過ごし、各々お気に入りの賞品を手に、満面の笑みを浮かべていました。最後は由里副会長による閉会の挨拶で和やかに懇親会を終了しました。



「ユネスコ」と「ユニセフ」

ユネスコ協会の会員で有る無しに関わらず、ユネスコとユニセフを間違える方が後を絶ちません。是非しっかりとご理解戴き、周りの方々にも正しくお伝えたいと思います。

ユニセフは、主に世界中の困っている子供たちを対象に食物・薬・その他の物資救援を行っている団体で、黒柳徹子さんやアグネス・チャンさんで有名です。

ユネスコは、活動の柱として「世界寺子屋運動」や「世界遺産認定」などを行い、募金による支援・保護・研究活動を行っています。

識字が行き届いてない国では、せつかくの救援物資も、ラベルの字が読めないために飲物と薬とを間違えて飲んで死んでしまうという悲劇も実際に起こっています。ユネスコは世界中の非識字者に対して識字教育の支援活動として「世界寺子屋運動」を行っています。

目的は、教育・科学・文化・コミュニケーションを通じて世界中の人々がお互いに無知や偏見を無くし、国や民族を超えて協力し、共に生きる平和な社会をつくることです。

第61回日本ユネスコ運動全国大会開催



本年の全国大会はユネスコ創設60周年記念大会として6月11日(土)、12日(日)に「文化の多様性と平和の展望」をメイン・テーマにして愛知万博開催中の名古屋で開催された。全国ユネスコ協会から774名が参加、韓国ユネスコ協会の来賓も迎え、第1日目は開会式典に続き「文化の多様性と平和の展望」と題したシンポジウムが行われた。

このシンポジウムは青木 保先生(政策研究大学院大学教授)、寺島 実郎先生(日本総合研究所理事長)、藤原 帰一先生(東京大学大学院教授)といった著名な先生方のそれぞれ独自の理論と主張が学問的に力強く発表され、それに対する三者による議論が展開され参加者に数多くの問題提起がなされた。また、参加者からの質問も多数ありそれに対し三人の先生方からグローバルな視点による文化間の相互理解の必要性に関する自論を披瀝しながら、民間ユネスコ運動でいかに活用するかについて示唆に富んだ対応がなされた。ユネスコの役割については、世界寺小屋運動、世界遺産保護活動などの活動を積み重ねながら異文化と積極的に接し世界の人々と正面から向き合い対話を深めることであるという結論に達した。

引き続き青年のアピールなどのあと、恒例のレセプションでは参加者間の意見交換、懇談が和やかに行われ大いに盛り上がった。

第2日目は愛知万博の「国連館・シアター」を訪問、国連館のメイン・テーマは文化の多様性と平和の展望につながる「多様性の祝祭—みんなが違う、それが世界」としており、サブ・テーマとして「人と環境」「文化の多様性」「生物の多様性」「平和と安全」を掲げている。詳しい説明を受け展示を見学したあと、「バーミヤン修復事業」のビデオ上映がありその進行状況を確認した。その後万博「愛・地球博」の会場内を見学し、有意義な大会を終えることができた。

芦屋ユネスコ協会からは、森副会長・塩井(努)常任理事・塩井(君)理事・吉野会員・山田事務局長が参加した。

来年度、第62回の全国大会は2006年6月3日(土)、4日(日)に岩手県・花巻温泉で開催される。

(事務局長 山田 利郎 記)

第27回阪神間ユネスコ協会連絡会 合同事業開催

阪神間ユネスコ協会連絡会(芦屋・尼崎・伊丹・川西・神戸・三田・宝塚・西宮の八ユネスコ協会)の合同事業が6月25日(土)神戸ユネスコ協会担当で兵庫県民小劇場において盛大に開催された。合同事業の内容は、三代目「神田 山陽」の講談を笑いと涙を交えて楽しませて貰いながら、ユネスコ精神の啓蒙を図った。特に、神戸ユネスコの青年部の参画と協力は多大なもので、第27回の合同事業を成功に導いてくれた。ユネスコ活動の今後の有り方に参考と刺激を与える神戸担当の合同事業であった。

(事務局長 山田 利郎 記)

部会報告とお知らせ

- ◇各部会ではお手伝い頂ける会員を募集しています。会合のご案内は AU 通信に掲載しますが、あるいは役員からの直接のお誘いがあるかもしれません。どうぞ快くご協力をお願いいたします。
- ◇各部会共、人材とともに企画・アイデアを求めています。時間的な協力が難しい方も、アイデアのご提供をよろしくお願いいたします。
- ◇各部会単位では無く、協会全体としての企画案も歓迎です。

事業部会

- ◇芦屋ユネスコ協会の活動をより充実させるべく 2005 年度事業を準備中。
- ◇ご提案、ご意見、部会員を募集しています。

交流部会

- ◇年間を通じて、会員の交流を原則として活動している。
- ◇2005 年度の事業として、4 月の恒例行事となっている、前回 1 面に掲載した世界文化遺産の見学バスツアーを企画・運営し、無事実施出来た。
- ◇2005 年度の事業計画としては、6 月の総会と懇親会、12 月の講演会&親睦会を中心に企画・準備中。

育成部会

- ◇芦屋市立図書館友の会に賛助して、2003 年度より、子供たちに向けて「ユネスコについてのお話及びビデオ鑑賞」を行っており、今年度も企画・準備中。
- ◇その他 2005 年度の事業計画を企画・準備中。

協調連携団体からのお知らせ

レディス・セミナーハウス

- ◇毎月第 3 火曜日 11 時～13 時半、芦屋ラポルテ本館 3 階山村サロンにて、レディス・セミナーハウスを開催しております。昼食は講師も交え、大阪の老舗「花外楼」の特別美味しいお弁当を戴けます。
- ◇ビジター参加が可能ですので、ご希望の方はセミナーの 5 日前までに下記事務局にご連絡下さい。8 月は夏休みとさせていただきますので、次回は 9 月 20 日の火曜日です。
(参加費:10,000 円、昼食代を含みます、男女を問いません)
- ◇入会希望の方は事務局にお問い合わせください。(事務局 Tel:31-0001 Fax:38-3388 広瀬)

1) 平成17年度兵庫県ユネスコ連絡協議会 総会

5月20日(金)に宝塚市立男女共同参画センターにて開催され、平成16年度の決算報告、平成17年度の予算が承認された。

昼食会のあと、宝塚市教育委員会の直宮憲一氏による「文化財の保護と宝塚市の文化財について」の講演会があった。文化財の意義、種類、保護と施策について詳しく説明があり認識を新たにすると共に、宝塚市指定文化財についての紹介もされた。その後、宝塚市立「手塚治虫記念館」を見学した。

芦屋ユネスコ協会からは、由里副会長、塩井(君)理事、河上監査委員が出席した。

本年からは兵庫県ユネスコ連絡協議会の会長は宝塚ユネスコ協会の会長(藤田喬子氏)が就任され兵庫県内の構成団体間の連携を図り、ユネスコ精神の普及、相互の親睦を図って頂くことになった。(任期は2年間)

2) 2005年度近畿ユネスコ協議会 総会

5月25日(水)に和歌山市のワカヤマ第2富士ホテルにて開催され、2004年度の決算報告、近畿ブロック研究会(奈良)報告、2005年度の予算、2005年度近畿ブロック研究会・和歌山県 紀北ユネスコ協会開催決定の承認がなされた。芦屋ユネスコ協会からは、塩井(君)理事が出席した。

本年からは、近畿ユネスコ協議会の会長は大阪ユネスコ協会の会長(中馬弘毅氏)が就任され近畿地域内の構成団体間の連携をはかり、日本ユネスコ協会連盟と協力し、ユネスコ精神の普及と組織の拡大を促進して頂くことになった。(任期は2年間)

3) 2005年度芦屋市ユネスコ協会 総会

6月24日(金)に芦屋市民センターで60名の会員の参加をえて開催された。

議案書及びAU通信に掲載した記事の通りの内容であった。

4) 芦屋ユネスコ協会「平和の鐘を鳴らそう!!」運動

～平和の祈りと願い～を込めて、今年も下記要領でこの行事を実施致します。

日時：8月15日(月曜日)正午(12時)

場所：市民センター玄関横の「優愛の鐘」を鳴らし平和を祈る。

皆様の積極的なご参加をお待ちしております!!

5) 芦屋ユネスコ協会公式ホームページ

芦屋ユネスコ協会のホームページを更新していますので、是非ご訪問下さい。

HPアドレス：<http://www.unesco.or.jp/ashiya/>



編集後記:この暑さの中、壊れたクーラーを直す余裕も無く、汗をかきながらの編集作業をすることとなりました。毎回出来るだけ読みやすくとの思いで作成しているのですが、今回はフォント・サイズ・スタイルを統一してみました。如何でしたでしょうか? 評価・感想などいただけると大変嬉しいです。スタッフに名乗りを上げてくださる方も大歓迎です。(事務局次長)